

ひむか農園では、同じ内山建設グループの**有限会社 エコロ**で作られた**有機質肥料**を活用しています。

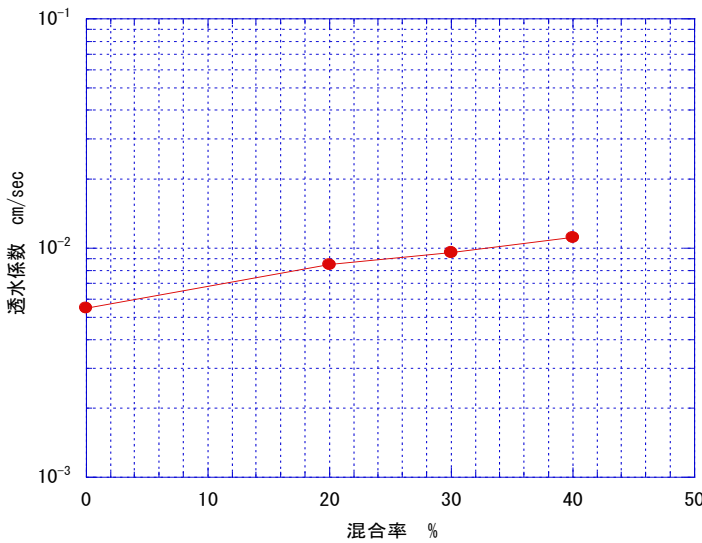
○**エコロの「バーク堆肥」の性能的優位性**

「バーク堆肥」については

- ①堆肥化に至るまでの熟成期間が通常3カ月間であるが、当社は最低でも6か月以上を費やしていること
- ②熟成させるために定期的に繰り返し作業を行い好気性発酵が促進されていること
- ③「篩(ふる)い工程」を通じて不純物を除去しながらより細かい繊維質の材料として生成されている

以上の3点の製造過程が同業他社比優位性を有しています。この生成過程を通じて品質的に作物育成に必要な「**保水性**」及び「**通気性**」「**保温性**」を満足させる品質を保有しています。

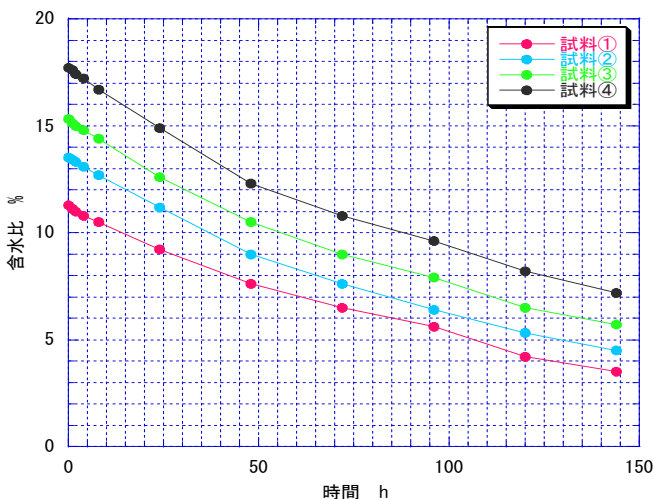
(図-1) エコロのバークの「透水性」(「宮崎県土質試験センター」にて試験)



透水性

当社バーク混合率が高いほど透水性の改善効果は顕著である

(図-2) エコロのバークの「保水性」(「宮崎県土質試験センター」にて試験)

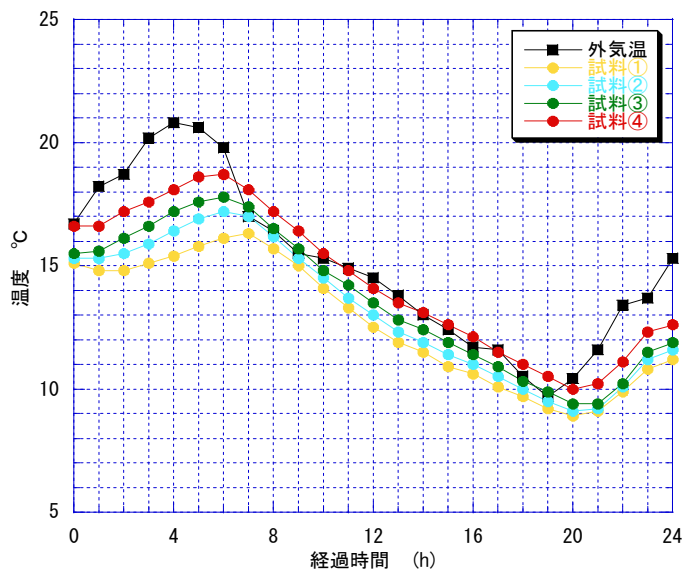


保水性

当社バーク混合率が高いほど含水比が高い傾向を示している

- 試料①=バーク混合率 0%
- 試料②=バーク混合率 20%
- 試料③=バーク混合率 30%
- 試料④=バーク混合率 40%

(図-3) エコロのバークの「保温性」(「宮崎県土質試験センター」にて試験)



保温性

当社バーク混合率が高いほど内部温度が高い傾向を示している

- 試料①=バーク混合率 0%
- 試料②=バーク混合率 20%
- 試料③=バーク混合率 30%
- 試料④=バーク混合率 40%

○エコロの「牛ふん堆肥」の性能的優位性

「牛ふん堆肥」については、「篩(ふる)い工程」を通じて不純物を除去しながら同時に使いやすい粒子状の材料に生成しています。

また堆肥化の生成プロセスにおいて専門のコンサルタントの指導の下で発酵処理を行い、標準的な同等品と比べて**肥料成分が豊富**であり、**発芽率が高くなっています**。

(表 1) 当社の「牛ふん堆肥」の優位性比較データ

牛ふん堆肥に含まれる養分含量

	標準a ※1	当社商品b※2	b-a	優位性
窒素 (%)	1.0	2.6	1.6	有
リン酸 (%)	1.5	3.5	2.0	有
カリ (%)	1.6	4.6	3.0	有
発芽率 (%)	80.0	94.0	14.0	有

※1 標準…「宮崎県良質たい肥流通促進協議会」のたい肥分析結果より

※2 当社商品…「畜産環境整備機構」のたい肥成分検査報告書より

※3 発芽率…「宮崎県良質たい肥流通促進協議会」の指標にはなし。

80%以上が腐熟状態で理想と言われている。